

【和光市】既存の公共交通機関が対応しきれない、道路が狭隘なエリアにおける交通ニーズを満たす手法

課題の背景

本市においては、道路が狭隘(約 5m)であることなどが原因で、バス等の公共交通機関のアクセスが行き届かないエリアが存在する。今後、高齢化が進み、運転免許と自家用車を手放すことにより交通手段が失われる市民が増加することが見込まれている。

(参考)

- ・利用者想定：65 歳以上の高齢者約 15,000 人（統計わこうより）、交通不便地域（新倉 1 丁目、下新倉 3 丁目、南 1 丁目）
- ・外環側道や一部幹線道路等において恒常的な渋滞の発生により、バスの定時性確保やタクシーの配車にも影響を与える傾向がある。
- ・路線バス事業者は運転手の確保が難しく、新規路線の設定や拡大は難しい状況。
- ・地域公共交通計画の課題対応のため、市は「自動運転サービス導入における実装実験（内閣府地方創生交付金の交付決定済）」において、交通に関するアプリ開発（循環バスや自動運転サービス、シェアサイクル等の複数ある移動手段を組み合わせ、予約、利用料金の決済を一括して行える専用アプリ）を計画している。
- ・シェアサイクルについては、令和元年 7 月より令和 4 年 3 月 31 日まで実証実験を行っている。

課題のゴール

交通機関のアクセスが行き届かないエリアに在住の高齢者に、必要な移動手段を提供し豊かな生活を送ることに貢献する。

求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・バス停などから距離があるところに住まわれている高齢者の方が、概ね自分のタイミングで鉄道駅や商業施設へ往復することができること。
- ・運転にあたり免許が不要であること。
- ・利用において、アプリ等により予約・決済等を包括的・簡易的に利用できること。
- ・モビリティの種類や ICT ソリューションの形は問わない。
- ・現在、本市では、地域公共交通会議を開催し、こうした課題の解決に向けて行政・地域住民・交通事業者とで検討を行っており、その取組・議論に協力すること。

(※実証実験等を行う場合は、上記の会議にて概要説明や実施報告を行う可能性あり)

(サービス例)

- ・空地、コンビニ、公共施設等の駐車場にポートを設け、狭隘な道路の走行も可能なシニアカー（電動キックポート）のレンタルまたはシェアリングサービスなど。
 - ・上記シェアリングサービス等の予約・決済等を行うスマートフォンアプリ等の提供または開発協力。
- ※本サービスの活用にあたり、高齢者を対象としたスマホアプリ等のデジタル利用講習会が可能であればなおよい。

協力事項

- ・実証実験を行う場合のフィールドの提供
- ・取組内容の評価